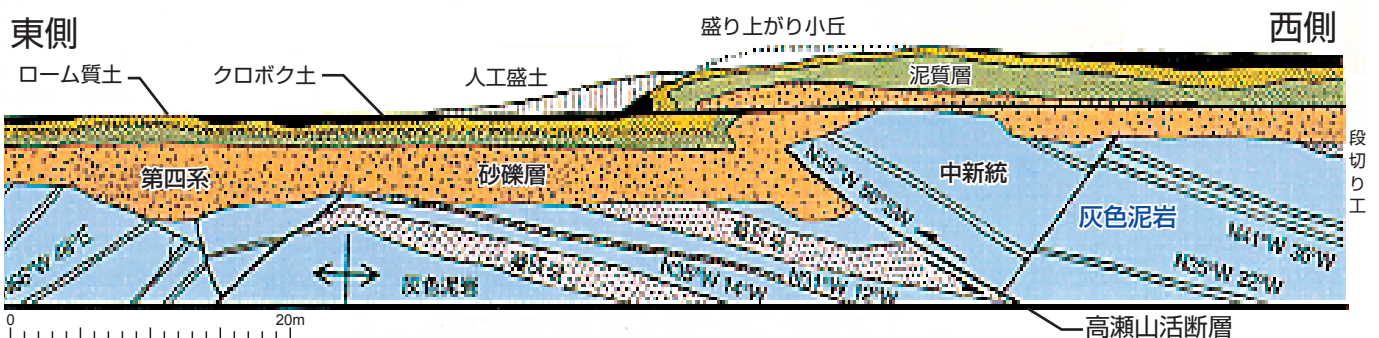


# 山形県の活断層

～庄内平野東縁断層帯、新庄盆地断層帯、山形盆地断層帯、長井盆地西縁断層帯～

『天災は忘れたころにやってくる』……  
山形県でも地震がおきる可能性が指摘されています。  
日頃から準備し、万が一に備えておきましょう。



山形県

## ■はじめに■

平成7年（1995年）1月17日に発生した阪神・淡路大震災（兵庫県南部地震）は、地震による被害の凄まじさを私達の脳裏に焼き付けました。そしてその大地震の原因は、私達の身近に存在する『活断層』によるものでした。国は、阪神・淡路大震災の教訓をもとに、全国の主要な断層帯について全国調査を開始しました。そのなかで山形県内の「庄内平野東縁断層帯」、「新庄盆地断層帯」、「山形盆地断層帯」、「長井盆地西縁断層帯」の4つの主要な活断層も調査が行なわれ、活断層の位置や長さ、これまでの活動実態、活動間隔などが明らかにされています。

こうした県内の主要な4断層帯の「長期評価」と「想定される被害」を紹介するとともに、「活断層とは何か」、「地震の備えはどうすればいいのか」など、活断層と地震対策について正しい知識をもってもらうためにこのパンフレットを作成しました。

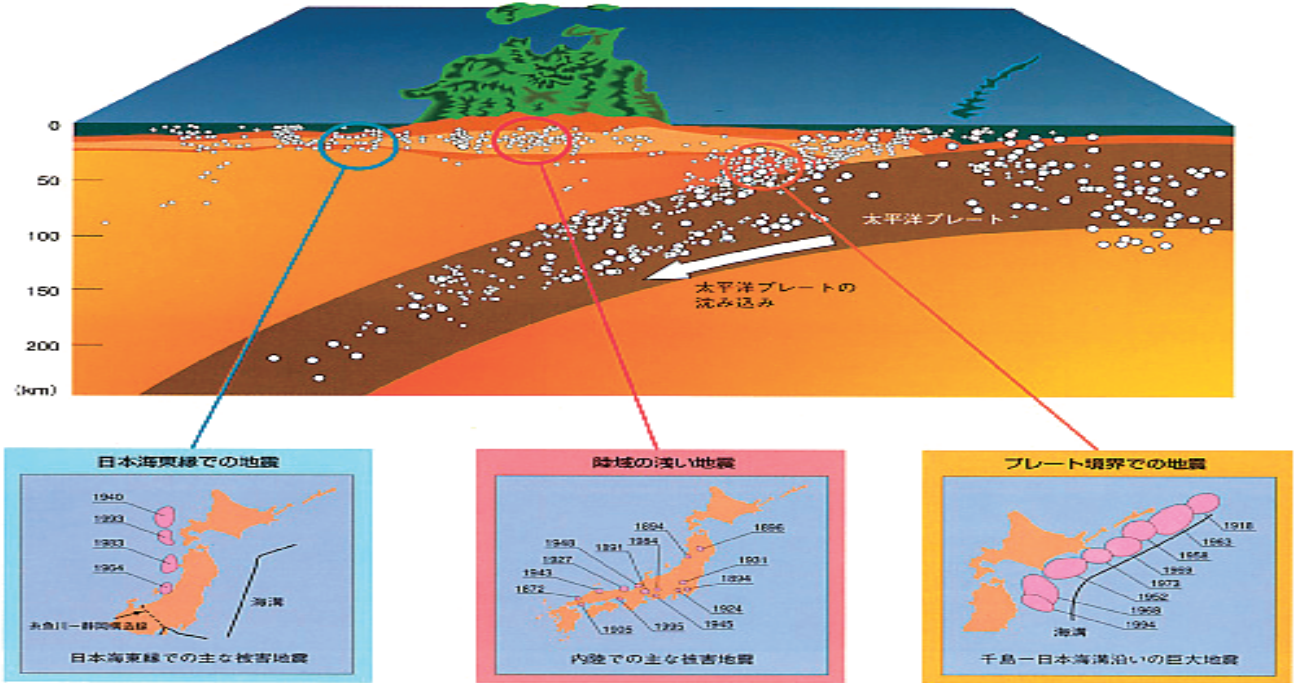
平成21年1月

## ■目次■

- 1 地震と活断層
- 2 山形県の主要な活断層と想定される震度
- 3 長期評価の結果
- 4 被害想定
- 5 地震と活断層の豆知識
- 6 地震から命をまもるために
- 7 いつでも身に付けておきたいものは？
- 8 家庭や職場に備えておきたいものは？
- 9 木造住宅の耐震改修のすすめ
- 10 地震発生の前にお部屋の総点検を
- 11 自主防災組織を作ろう
- 12 ふだんからのつながりが大切です
- 13 大地震から学ぶこと

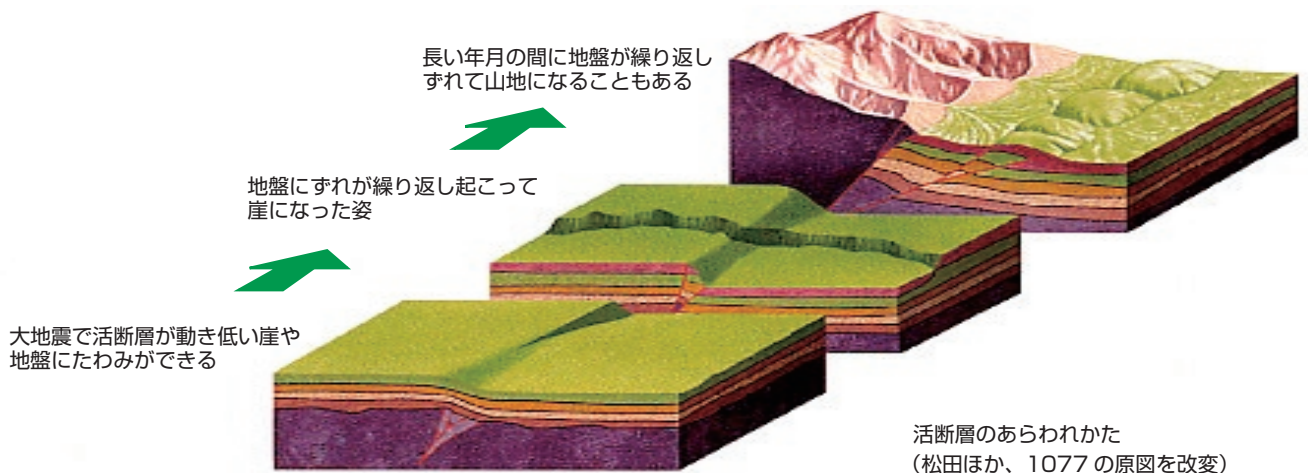
# 1 地震と活断層

日本列島を東西の断面で見ると、大陸側のプレートの下に太平洋プレートが沈み込んでいるため、日本列島に強い力がかかっています。このため、内陸の浅い場所とプレートの沈み込んでいる付近に地震が多く発生しているのが分かります。



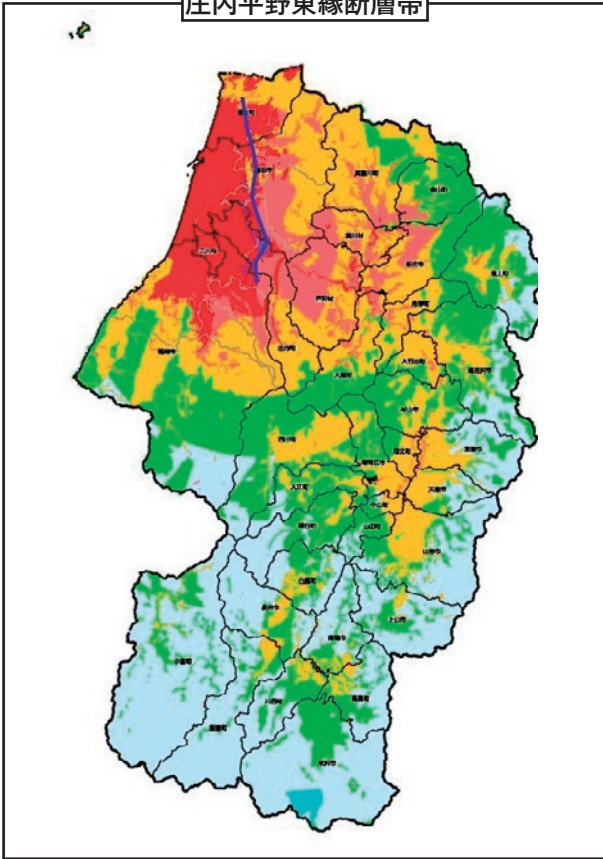
活断層とは、第四紀（約200万年前）から現在までの間に動いており、将来も活動することが推定される断層をいいます。

内陸部の浅いところにある活断層が活動すると、震源が比較的浅いため、地表に崖などのずれとなって断層そのものが現れます。そのずれを調べると『活断層』の多くは数千年単位で繰り返し動いてきたことが分かりました。上図のように日本列島に強い力がかかり続ける限り、『活断層』による地震は繰り返し発生すると考えられます。

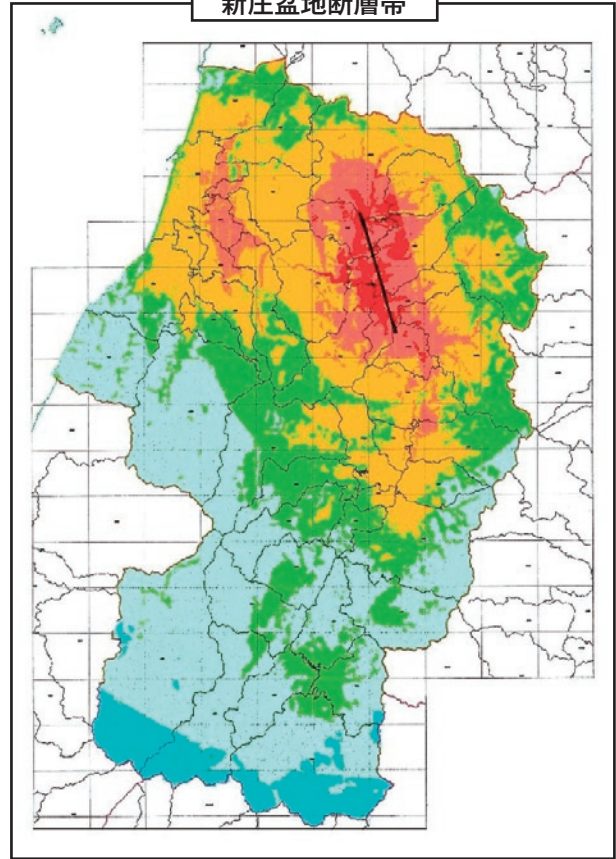


## 2 山形県の主要な活断層と想定される震度

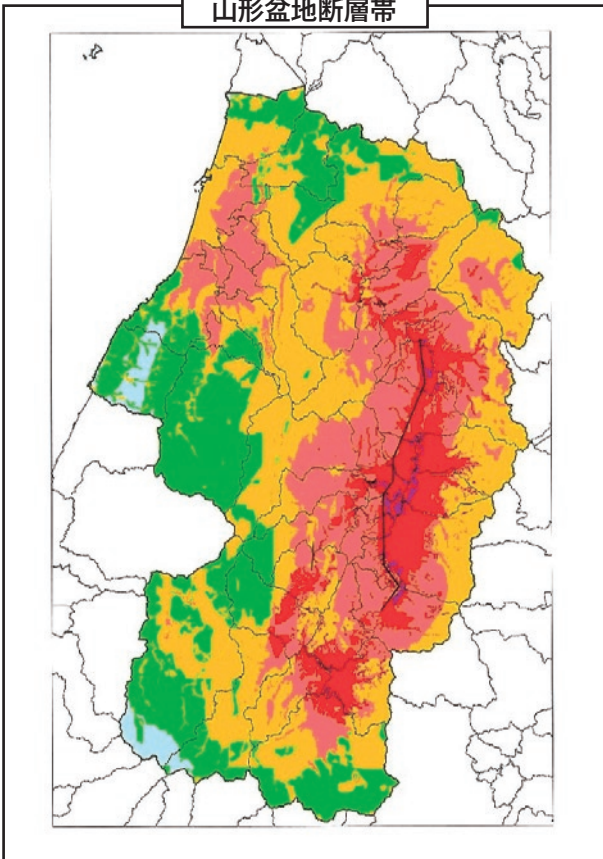
庄内平野東縁断層帯



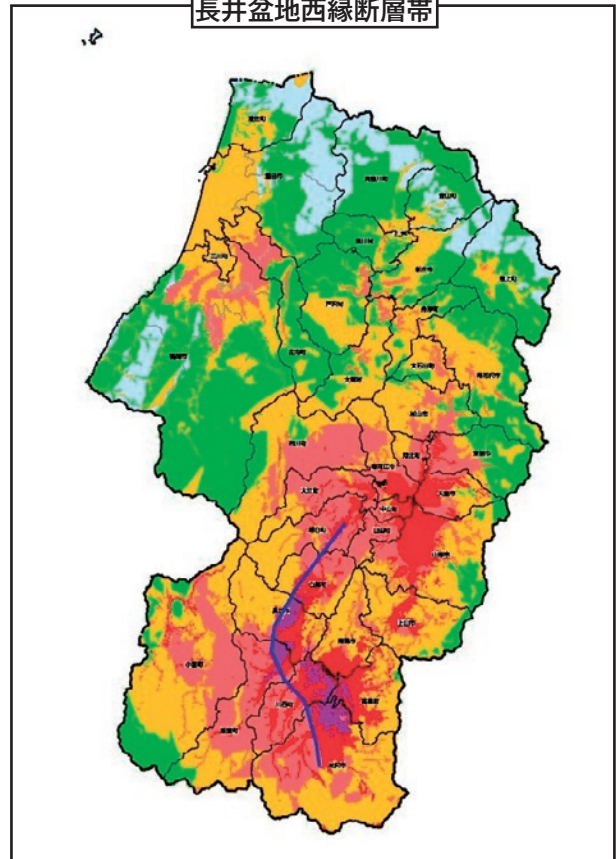
新庄盆地断層帯



山形盆地断層帯



長井盆地西縁断層帯



資料：山形県（1998）「山形県地震対策基礎調査」  
 ：山形県（2002）「山形盆地断層帯被害想定調査」  
 ：山形県（2005）「山形県地震被害想定調査」

凡 例	
■ : 震度 3 以下	■ : 震度 6 弱
■ : 震度 4	■ : 震度 6 強
■ : 震度 5 弱	■ : 震度 7
■ : 震度 5 強	